

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社銀座ルノール
【英訳名】	GINZA RENOIR CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小宮山 文男
【本店の所在の場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長兼総務部長 猪狩 安往
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長兼総務部長 猪狩 安往
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	3,267	3,393	6,568
経常利益(百万円)	198	301	372
四半期(当期)純利益(百万円)	74	146	179
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	71	153	193
純資産額(百万円)	4,836	5,088	4,978
総資産額(百万円)	5,692	5,938	5,883
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	12.52	24.29	29.97
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	24.11	29.89
自己資本比率(%)	84.4	85.1	84.0
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	177	280	489
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	100	9	282
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	0	43	19
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	1,101	1,478	1,251

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.91	10.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第50期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や金融政策により円安・株高が進行し、景気は緩やかに回復傾向にあるものの、海外景気の下振れの懸念等依然として先行き不透明な状況となっております。

また、景気回復に伴う個人消費の盛り上がりへの期待はあるものの、引き続き不安定な雇用環境や消費税率の引き上げに対する懸念などから、消費者の節約志向は続くものと思われれます。

当社グループが属する喫茶業界に関しましては、重要課題である出店立地の選択において、競合各社による競争もますます激化しており、出店目標を達成できない状況にあります。

このような状況の中、当社グループはお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やお客様がくつろげるホスピタリティあふれるサービスの提供に努めるなど既存店の強化を行うとともに、平成25年8月ニューヨーカーズ・カフェ駿河台4丁目店及びニューヨーカーズ・カフェ調布北口店の2店舗を改装いたしました。

また、「FC開発部門」を創設し、フランチャイズ方式による全国展開を視野に入れた出店に向けて努力しております。

店舗数につきましては、平成25年5月亀戸駅前店及びニューヨーカーズ・カフェ千駄ヶ谷駅前店を、平成25年7月伊勢佐木町店の3店舗を閉店いたしましたので、112店舗(うち2店舗はFC)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,393百万円(前年同期比126百万円増)、営業利益は281百万円(前年同期比105百万円増)、経常利益は301百万円(前年同期比102百万円増)、四半期純利益は146百万円(前年同期比71百万円増)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、5,938百万円となり前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が226百万円増加したものの、敷金及び保証金が87百万円、有形固定資産が72百万円減少したこと等によるものであります。

負債は849百万円となり前連結会計年度末に比べ55百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が73百万円増加したものの、その他流動負債が103百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は5,088百万円となり前連結会計年度末に比べ110百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が98百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.1%(前連結会計年度末は84.0%)となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,478百万円となり前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は280百万円(前年同期比103百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が298百万円計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9百万円(前年同期比90百万円減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が60百万円、敷金及び保証金の差入による支出が30百万円あったものの、敷金及び保証金の回収による収入が118百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は43百万円(前年同期は得られた資金が0百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が48百万円あったこと等によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,252,004	6,252,004	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	6,252,004	6,252,004	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

なお、当社は平成25年10月10日開催の取締役会において、単元株式数を1,000株から100株に変更する旨の決議(効力発生日は平成25年12月2日)をいたしました。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日	-	6,252,004	-	771,682	-	1,062,078

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社オーギュスト	東京都港区西新橋2-34-4	1,331	21.29
株式会社花見煎餅	東京都国分寺市高木町1-10-51	1,168	18.68
小宮山 文男	東京都国分寺市	871	13.93
塩井 賢一	東京都新宿区	500	8.00
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	237	3.80
株式会社K E C	東京都中央区八丁堀1-9-6	99	1.58
小宮山 榮治郎	東京都杉並区	90	1.44
猪狩 安往	東京都江戸川区	81	1.30
中島 雍彦	東京都豊島区	59	0.95
キーコーヒー株式会社	東京都港区西新橋2-34-4	50	0.80
計	-	4,487	71.77

(注) 上記のほか自己株式が227千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 227,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,011,000	6,011	-
単元未満株式	普通株式 14,004	-	-
発行済株式総数	6,252,004	-	-
総株主の議決権	-	6,011	-

(注) 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式713株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(株)銀座ルノアール	東京都中野区中央 4丁目60番3号	227,000	-	227,000	3.6
計	-	227,000	-	227,000	3.6

(注) 当第2四半期会計期間末の自己株式数は、227,713株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,295,708	1,522,472
売掛金	38,565	35,600
有価証券	2,015	2,522
商品	25,307	24,595
貯蔵品	2,056	1,050
繰延税金資産	58,979	58,979
その他	180,385	146,951
流動資産合計	1,603,017	1,792,173
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,304,881	3,267,575
減価償却累計額	2,077,167	2,110,625
建物(純額)	1,227,714	1,156,950
工具、器具及び備品	343,193	332,671
減価償却累計額	311,987	304,996
工具、器具及び備品(純額)	31,205	27,675
土地	518,173	518,173
その他	1,858	2,454
減価償却累計額	1,802	409
その他(純額)	55	2,045
有形固定資産合計	1,777,149	1,704,845
無形固定資産		
商標権	7,286	6,245
ソフトウェア	13,981	11,339
無形固定資産合計	21,268	17,585
投資その他の資産		
投資有価証券	173,072	178,677
長期貸付金	36,369	64,585
敷金及び保証金	2,023,827	1,936,722
繰延税金資産	105,288	104,431
その他	149,943	145,394
貸倒引当金	6,212	6,212
投資その他の資産合計	2,482,289	2,423,599
固定資産合計	4,280,707	4,146,030
資産合計	5,883,724	5,938,203

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,642	70,611
短期借入金	80,000	80,000
未払法人税等	89,310	162,502
賞与引当金	65,470	51,800
株主優待引当金	19,167	7,925
その他	304,617	201,099
流動負債合計	637,208	573,938
固定負債		
退職給付引当金	103,339	104,807
役員退職慰労引当金	84,968	91,247
その他	79,764	79,764
固定負債合計	268,072	275,819
負債合計	905,281	849,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,158	1,063,398
利益剰余金	3,192,667	3,290,816
自己株式	100,466	96,340
株主資本合計	4,927,041	5,029,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,366	23,007
その他の包括利益累計額合計	16,366	23,007
少数株主持分	35,034	35,880
純資産合計	4,978,442	5,088,445
負債純資産合計	5,883,724	5,938,203

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	3,267,111	3,393,210
売上原価	408,598	421,456
売上総利益	2,858,512	2,971,753
販売費及び一般管理費	2,682,876	2,690,594
営業利益	175,635	281,159
営業外収益		
受取利息	1,176	868
受取配当金	532	624
受取家賃	36,408	36,724
その他	7,722	5,452
営業外収益合計	45,840	43,669
営業外費用		
支払利息	454	481
不動産賃貸費用	18,842	18,755
その他	3,198	3,696
営業外費用合計	22,495	22,933
経常利益	198,980	301,895
特別損失		
固定資産廃棄損	4,093	3,369
特別損失合計	4,093	3,369
税金等調整前四半期純利益	194,886	298,525
法人税等	120,000	151,414
少数株主損益調整前四半期純利益	74,885	147,111
少数株主利益	138	845
四半期純利益	74,747	146,265

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,885	147,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,871	6,641
その他の包括利益合計	3,871	6,641
四半期包括利益	71,014	153,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,876	152,907
少数株主に係る四半期包括利益	138	845

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,886	298,525
減価償却費	96,839	98,993
長期前払費用償却額	12,558	13,529
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,424	1,468
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	38,611	6,278
賞与引当金の増減額(は減少)	8,190	13,670
株主優待引当金の増減額(は減少)	10,241	11,242
受取利息及び受取配当金	1,708	1,492
支払利息	454	481
固定資産廃棄損	4,093	3,369
売上債権の増減額(は増加)	2,864	2,965
たな卸資産の増減額(は増加)	4,287	1,717
仕入債務の増減額(は減少)	6,022	8,030
その他の流動資産の増減額(は増加)	2,165	686
その他の流動負債の増減額(は減少)	38,686	58,351
未払消費税等の増減額(は減少)	16,632	7,150
その他	29,812	16,427
小計	224,962	357,434
利息及び配当金の受取額	1,728	1,411
利息の支払額	493	563
法人税等の支払額	48,801	77,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,396	280,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	26,705	26,709
定期預金の払戻による収入	26,700	26,705
有価証券の償還による収入	1,500	27,000
長期貸付けによる支出	-	34,000
長期貸付金の回収による収入	6,602	6,015
有形固定資産の取得による支出	120,655	60,176
敷金及び保証金の回収による収入	55,312	118,397
敷金及び保証金の差入による支出	28,149	30,000
その他	15,355	37,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,750	9,871
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	-
自己株式の処分による収入	-	4,470
自己株式の取得による支出	258	104
配当金の支払額	29,681	48,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	60	43,967
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	76,705	226,760
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,715	1,251,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,101,421	1,478,514

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	991,196千円	1,006,745千円
賃借料	863,496	859,364
賞与引当金繰入額	47,150	51,800
退職給付費用	8,488	7,727
役員退職慰労引当金繰入額	6,286	6,278

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,145,372千円	1,522,472千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	43,950	43,958
現金及び現金同等物	1,101,421	1,478,514

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	29,851	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	48,115	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

(企業結合関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	12円52銭	24円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	74,747	146,265
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	74,747	146,265
普通株式の期中平均株式数(株)	5,970,008	6,021,554
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	24円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千円)	-	45,317
(うち新株予約権)	(-)	(45,317)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注)前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社銀座ルノアール

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 聡 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北本 佳永子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座ルノアールの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座ルノアール及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。